

故櫻井男爵の御靈前に

本誌前號の故櫻井鏡二男爵追悼の特輯は、郷黨各方面の敬中と追慕の言葉を以つて埋められ、非常に意義深いものとなりました。誌友各位から多數の讃辭を頂き、故男爵五男、季雄博士からも次の様な御挨拶を受けました。本社が郷土の大先輩を敬慕するの情やみ難く微力を捧げましたことがかく御好評を得まして感激いたしてをります。

なほ一七五の「私の敬慕する

先輩」に於いて、櫻井男爵の多いことは、今更らながら偉大な男爵であつたことを偲ばせます。

侯爵と御一諸に撮影

聖化學研究 櫻井季雄
所員 櫻井 櫻井季雄

拜啓、貴社益々御隆盛奉大賀候陳者 貴社發行「加能人」三月號御惠送下され誠に難有く厚く御禮申上候 甚だ申兼ね候へども残り御座候はゞ今一部御送附願得れば幸甚と存じ候。



次に同誌上の市村塘氏の記事にもある如く、父が金澤を訪問せる最後は昭和十一年十月、第十二回日本學術協會講演の節に御座候が實は小生も同會講演のため金澤に同伴し、其節同會長前田侯爵閣下主催の歡迎園遊會が兼六公園に開催致され候。その節小生が撮影せる寫眞は今日良き紀念と相成り、殊に公園に於て侯爵閣下と御一諸に撮影せる點に於て意義深きものかと存じ候。同封御送附申上候。先は右御禮旁々御願ひ申上候

敬具

櫻井新男爵

帝國學士院長樞密顧問官櫻井鏡二男爵薨去により、御息櫻井武雄氏に襲爵を仰せつけられた。新男爵は三男として明治廿九年九月廿七日生れ、海軍機關學校卒業、海軍砲術、工機學校教官、衣笠、第

遙かに哀悼に堪えず

土木(無類) 飛鳥井堵他郎
請負業(無類)

故櫻井博士の御長逝は感慨無量と存じます。遙に哀悼に堪えません。然れ共博士の御人格と授爵は櫻井家、我が郷黨の光榮この上もありません。頓首百拜

非常時日本の大損失

輪島町商工會頭 日吉周藏

本邦學界の大恩人、本縣の大先輩として常に敬慕措く能はざる前樞密顧問官、帝國學士院長、男爵櫻井鏡二閣下の薨去は、刻下非常時日本の一大損失として誠に痛惜に不堪候。滿腔の赤誠を批瀝して謹んで哀悼の意を表し候。

照し導き給はん事を

東京通信局技師 深見幸雄

學界の明星、天に昇り給ひても、朝に夕に、郷黨を照らし導き給はんことを。

(上掲寫眞季雄博士撮影)

逝去と不幸

日絹社長松村諦成氏

大阪市住吉區常塚山中二丁目、日本絹織社長松村諦成氏(金澤市出身)は風邪療養中急性肺炎を併發して、遂に三月廿二日午前十一時五十七分命終された。享年六十八、廿四日難波別院にて會社葬を行つた。故氏は明治五年六月松村太平氏長男に生れ、四高から明治卅年東大機械科を卒業した。瀨津紡績工務長から大正七年大日本紡常務取締役就任、昭和十一年四月日本絹織社長となり、外に大日本紡日本レーヨン、新日本レーヨン各社の取締役であつた。一方極めて精神家で、帝場山にては自然堂道場を開き場主となつてゐた。遺族は他見子夫人(三、藤井章正氏養女)長男武夫(四)等である。

岡田爲吉氏 東京市麹町區九段四ノ七ノ三、辯護士岡田氏(江沼

郡出身)は今年一月逝去された。

大瀨丈太郎氏 京城府永樂町一ノ四六鑛業手續、測地業大瀨氏(金澤下本多町、東京工手學校卒業)は一月廿二日逝去された。

津澤清氏 東京市豊島區西巢鴨二ノ三五一七、辯護士(海上ビル新館)津澤氏(金澤市出身)は一月廿七日他界された。

廣瀬俊也氏 安田銀行深川支店廣瀬氏(金澤市出身)は二月十八日急病にて逝去された。

古丸藤太氏 神戸三菱造船所、古丸氏(金澤市百々女木町出身)は病氣療養中であつたが、三月十四日午後二時五十分神戸市須磨區稻穂町四丁目の自宅で逝去された。享年四十八。

山岸安二氏 長く内務省大阪土木出張所松江事務所であり、その後廣島市西觀音町二丁目太田川事務所に轉じた内務技師山岸安二氏(羽咋郡出身)は、一月廿一日永眠された。之に對し位一級進められ、正四位勳四等に敘された上高等官二等に陞敘された。廣島市水主町一三八に遺族がある。

高田久平氏 大阪實業界に活躍の高田商事株式會社社長、兵庫縣武庫郡芦屋高田三太郎氏嚴父久平氏は江沼郡那谷村の自宅で三月十二日逝去され三月十四日那谷村那谷寺で葬儀を嚴修した。享年九十一歳の高齡であつた。